

PFAS(PFOA・PFOS)含有物の 分解処理

当社は道内唯一の認定業者として培った低濃度PCB処理での確かな実績・処理経験を活かし、
「安全」「確実」「適切」にPFAS(PFOA・PFOS)の分解処理を実施いたします。

PFAS (PFOA・PFOS)含有の泡消火剤や廃液の処分にお困りではないですか？

分解が確認されている処理業者は全国でも限られています

1 PFOA・PFOS とは？

化学的安定性に優れ、泡消火剤や半導体用反射防止剤・金属メッキ処理剤等、に利用されてきましたが、人体への影響が考えられ、日本の化審法第一種特定化学物質に指定、製造・輸入等が禁止となり、環境省の技術的留意事項※に基づいた**適正な処理が必要**となっています。

2 確認試験

当社は、PFOA（ペルフルオロオクタン酸）および PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）について、「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」（環境省令和4年9月）に基づいた分解処理に関して確認試験を実施し、**分解率99.999%以上**であることを確認致しました。

3 確認試験の概要

- ・試験施設：JX金属苫小牧ケミカル株式会社 50mローターキルン炉及び二次燃焼炉
- ・試験実施期間：2025年7月17日（PFOA）、2025年12月2日(PFOS)
- ・燃焼温度：850～1,000℃、滞留時間2秒以上

4 確認試験の結果（分解効率）および分解処理目標

《PFOA・PFOS 試験結果》

《PFOA・PFOS 分解処理管理目標値》

[分解効率]

- ・PFOA：99.999588%
- ・PFOS：99.999962%

確認事項	測定項目	分解効率 管理目標値
分解効率	PFOA・PFOS	99.999 %以上
排ガス	PFOA・PFOS	60 ng/m ³ N以下
排水	PFOA・PFOS	1 µg/ℓ 以下
残渣	PFOA・PFOS	5 µg/kg-dry以下
排ガス	HF[フッ化水素]	5 mg/m ³ N以下

※産業廃棄物焼却設備：ローターキルン炉及び二次燃焼炉 ※燃焼温度：850℃以上、滞留時間：2秒以上

5 当社のPFOA・PFOS廃棄物受入概要

- ・泡消火剤：使用、放出された泡消火剤
- ・廃液：PFAS含有廃液

荷姿、処理料金等は都度ご相談とさせていただきますので、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

JX金属苫小牧ケミカル株式会社（営業部）
〒059-1372 北海道苫小牧市字勇払152番地
Phone:0144-56-2099(ダイヤルイン営業部)
FAX：0144-56-1864

苫ケミ

検索



JX金属苫小牧ケミカル株式会社